



ご意見いただきたい内容:効果的な普及啓発方法について

1. 普及啓発イベント

- ・府民を対象とし、集客施設においてイベントを実施。
- ・イオン株式会社との包括連携協定に基づく公民連携の取組みとして、イオンモールにて実施。

時期	会場	内容
令和3年7月10日(土) 午後1時から午後4時まで	イオンモール北花田(堺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示 ・事業所の作品展示 ・相談ブース ・ミニクイズ ・啓発グッズ(クリアファイル)・リーフレット配布
令和4年6月4日(土) 午前10時から午後4時まで	イオンモール日根野(泉佐野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやんと撮影会 ・相談ブース ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ)配布 
令和5年6月18日(日) 午前10時から午後4時まで	イオンモール茨木(茨木市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやん・ミャクミャクとの撮影会 ・相談ブース ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ、クリアファイル)配布 ・屋台(輪投げ、お菓子掴み) ・万博ブース 
令和6年6月8日(土)予定 午前10時から午後4時まで	イオンモール鶴見緑地(大阪市)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の作品展示 ・もずやん・ミャクミャクとの撮影会 ・相談ブース ・ミニ講義・脳トレ体験 ・啓発グッズ(うちわ、クリアファイル)配布 ・屋台(輪投げ、お菓子掴み) ・万博ブース

2. 普及啓発用ツール

- ・普及啓発を行うため、府民や支援者等が、いつでも気軽に知識を習得することができるような普及啓発用ツールの作成・公開に向け、令和5年8月及び令和5年12月～令和6年1月の計2回検討会を開催。
- ・構成員から、高次脳機能障がいのある方の実態に基づいたものも踏まえ、様々な意見をいただきながら、令和5年12月に、①と②の2本の動画を公開。動画製作にあたっては、しぶやちあき氏からイラスト提供。
- ・作成する動画のテーマは下記のとおり。
- ・令和6年度は③④について、構成員の意見を聞きながら製作予定。

作成予定年度	タイトル	内容
令和5年度	①事故や脳の病気のアトモシカすると…	症状、高次脳機能障がいの説明、相談窓口の紹介
令和5年度	②診断してもらうには ～発達障がい・認知症との違い～	診断基準や流れ、他障がいとの共通点や違い
令和6年度	③家庭内でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、当事者・家族の会紹介
令和6年度	④買い物先・銀行・役所でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、福祉サービス紹介
令和7年度	⑤職場でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法、就労支援
令和7年度	⑥学校でこんなことありませんか？ ～事故や脳の病気のアトモシカすると～	症状、対応方法
令和8年度	⑦当事者・家族からのメッセージ	今後検討

3. 大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会

- ・本講習会は、一般社団法人 日本損害保険協会の助成を受けて実施。
講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換の場を提供することが目的。
医療・福祉などの関連専門職、当事者・家族などを中心に構成する「リハビリテーション講習会実行委員会」を設置し、講習会の企画・運営を行うこととなっており、大阪府も実行委員会のメンバーとして参画
- ・令和5年度実施の講習会については下記のとおり。
タイトル : 第4回大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会
開催方法 : 堺市立健康福祉プラザ大研修室での対面開催 及び YouTubeでのオンデマンド配信
開催日時 : 令和5年11月12日(日)13:30~16:00
※録画・編集したものを令和5年11月末~12月20日YouTube限定公開
- 内容 : ①高次脳機能障がいに関する基礎講座
②当事者・家族・支援者による体験談
③当事者・家族会の活動紹介
- 参加者 : 会場51名、web受講170名

4. 普及啓発用ポスター・グッズ等

- ・令和2年度:クリアファイル 令和3年度:うちわ 令和4年度:ポスター
- ・令和5年度は、桃山学院大学の学生等や福祉事業所と共同で、付箋及びクリアファイルを作成。デザインについては参考資料5のとおり。
- ・今後、普及啓発イベント等での配布を予定。

5. 人材養成

- ・市町村担当職員研修について、視聴できる期間を長く設定したところ、参加者数が倍増。
- ・地域支援者養成研修・相談支援従事者研修の演習については、受講者のニーズに合わせてWebか対面かを選択可能とし、好評であった。
- ・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定により、高次脳機能障害者支援者養成研修の修了者が加算対象となる予定のため、今後の研修体系も含めて方向性を検討中。

		研修名	内容	日時・方法	参加者数	(参考) R4
研修	対象者別	市町村担当職員研修	障がい特性を踏まえ、個別性の高いケースに応じて、どのような福祉サービスで地域生活を支えるかや市町村内での他部署との連携の必要性等についての理解	令和5年7月14日(金)～24日(月) オンデマンド配信	75名	31名
		地域支援者養成研修	地域の事業所で直接支援をしている支援者が、他の事業所における支援方法の好事例や試行錯誤の事例(失敗事例を含む)を学び、個々の状態像を適切にアセスメントし、個別性に応じた支援の組立ができるよう演習等を通じたスキルの獲得	講義:令和5年8月24日(木)～9月25日(月) オンデマンド配信 演習:令和5年9月7日(木)/14日(木)のいずれか 7日はWeb、14日は対面開催	58名	67名
		相談支援従事者研修	高次脳機能障がいの特性をふまえた支援会議等の実施、地域資源の改善・開発の取り組み、多職種連携の取り組み等、好事例を学ぶとともに、地域で支援の組み立てができるよう事例演習等を通じたスキルの獲得	講義:令和5年8月24日(木)～9月25日(月) オンデマンド配信 演習:令和5年9月19日(火)/26日(火)のいずれか 19日はWeb、26日は対面開催	60名	52名
		医療機関等職員研修	医療職に対し、高次脳機能障がいの支援に必要な受傷時の画像や経過などの様々な情報の提供に関する重要性や医療と福祉機関でのリハビリテーションの違いや連携についての知識を習得	令和6年2月4日(日) Web開催	76名	59名
					計 269名	

市町村担当職員研修の講義内容

講義①「高次脳機能障がいのある方が窓口に来られた際の対応の工夫」

講師：大阪急性期・総合医療センター 臨床心理室 主任 岡部 伸太郎氏

講義②「大阪府における失語症者への意思疎通支援について」

講師：一般社団法人大阪府言語聴覚士会 失語症意思疎通支援実行委員会

講義③「高次脳機能障がいを生きる・支える」

講師：就労継続支援 B 型事業所 リボン天王寺利用者 西村耕一氏・代表取締役 山下ゆき氏

講義④「大阪府における高次脳機能障がいのある方への支援～ 地域別実践研修について～」

講師：大阪府福祉部障がい福祉室 地域生活支援課職員

講義⑤「大阪府高次脳機能障がい支援拠点の取り組み」

講師：障がい者医療・リハビリテーションセンター職員

地域支援者養成研修・相談支援従事者研修の講義内容＊講義は共通

講義①「高次脳機能障がいの診断・評価と支援の工夫」

講師：大阪急性期・総合医療センター 臨床心理室 主任 岡部 伸太郎氏

講義②「高次脳機能障がいのある方の退院支援について」

講師：医療法人清翠会 牧リハビリテーション病院 地域連携室 主任 榎並 寛臣氏

講義③「高次脳機能障がいを生きる・支える」

講師：就労継続支援 B 型事業所 リボン天王寺 利用者 西村 耕一氏、代表取締役 山下 ゆき氏

講義④「コミュニケーション障がいがある人への支援 失語症を中心として」

講師：地域活動支援センターすももクラブ 管理者 言語聴覚士 大槻 美保氏

講義⑤「大阪府高次脳機能障がい支援拠点の取り組み」

講師：障がい者医療・リハビリテーションセンター職員

講義⑥「相談対応におけるポイントと工夫」

講師：大阪府高次脳機能障がい相談支援センター職員

講義⑦「高次脳機能障がいの相談支援で大切にしていること」

講師：社会福祉法ひびき福祉会 障害者生活支援センターひびき センター長 比名 陽子氏

講義⑧「高次脳機能障がい者支援における(自立支援)協議会の活用」

講師：摂津市障害者総合支援センター 施設長 主任相談支援専門員(大阪府障がい者相談支援アドバイザー) 石井 寛人氏

地域支援者養成研修の演習内容

講義・演習①「高次脳機能障がいのある方の支援の組み立て」

講師・演習進行：大阪府立障がい者自立センター 自立支援課職員

アドバイザー・ファシリテーター：高次脳機能障がいのある方の支援経験が豊富な支援事業所職員7名

講義・演習②「研修参加者のネットワーク作り」

演習進行：大阪府高次脳機能障がい相談支援センター職員

相談支援従事者研修の演習内容

講義・演習①「高次脳機能障がいのある方の支援の組み立てと連携」

講師・演習進行：医療法人清風会 菜の花障害者相談支援センター 係長(相談支援専門員) 舟木 奈緒美氏

演習②「研修参加者のネットワーク作り」

演習進行：大阪府高次脳機能障がい相談支援センター 職員

医療機関等職員研修の講義内容

講義①「高次脳機能障がいについて」

講師：大阪府障がい者自立相談支援センター 所長 正岡 悟

講義②「高次脳機能障がい患者への医療機関での支援」

講師：大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科副部長(医師) 山中 緑氏

講義③「急性期医療から地域移行へなめらかにバトンをつなぐ」

講師：大阪急性期・総合医療センター 作業療法士 西埜 和希氏

講義④「高次脳機能障がいのある方の支援について」

講師 大阪府立障がい者自立センター職員

講義⑤「大阪府 高次脳機能障がい相談支援センターについて」

講師：大阪府高次脳機能障がい相談支援センター 職員